

一 般 質 問

令和6年12月6日に「第4回奥尻町議会定例会」が開会され、2名の議員から一般質問がありましたので、その質疑応答の概要について紹介します。

せい
の
制野
ゆく
お
征男
議員



ホテル建設の 諸課題

質 問

ホテル建設は観光振興にとつて欠かせないことで慎重な姿勢が求められていることから、課題と展望についての見解を確認します。

- 1、民間会社の方針から奥尻町が多くの出資をし、第三セクター方式に移行する意図を明確にされたい。
- 2、ホテル建設に向けて補助と過疎債を受ける意向ですが、その費用の使途を明示されたい。

- 3、最大120室とした場合の建設費用の見込みを提示されたい。
- 4、ホテルの営業部門を担当する業者との営業年限の取り決めはされていますか。
- 5、ホテル営業に必要とする人材確保の取り決めはされていますか。
- 6、地域脱炭素移行計画にあるホテル建設に係る交付税は適用になりますか。
- 7、島内宿泊施設との協同の誘致戦略の意見交換を、営業担当会社に要請する意思はありますか。

諸課題に対処し 建設を推進する

町長答弁

本事業は町から第三セクターへの補助金財源として、内閣府のデジタル田園都市国家構想交付金と過疎対策

事業債の活用を予定しており、また出資金の財源としても過疎対策事業債を活用する予定です。

この交付金の交付要件及び起債同意要件には、町が過半以上の資本金を出資している会社であることが要



ホテル建設予定地の旧役場庁舎

件のため、町が過半以上の資本金を増資し、ホテル所有会社を第三セクターとしたものであります。

現在120室での試算はしておりませんが、運営会社の140室での試算では、設計、備品など開業に係る費用総額で約30億円を見込んでおりました。

12月3日に締結した基本協定では、賃貸借期間としてまず10年という協定を締結しました。

人材確保について特に取り決めはしておりませんが、必要な従業員はホテル運営会社の方で確保するのとこのことでした。

建設予定のホテルは、地域脱炭素移行・再エネ推進事業で計画していた簡易宿泊施設とは異なるため、交付金の対象にはなりません。このたびのホテル建設事業は、町内の宿泊事業者は

もとより、その他の事業者にも与える影響も非常に大きいもので、運営会社に協力を要請しながら、町が主体となつて各関係者と共に宿泊客の誘致推進を図ることが最も重要と考え、町全体として宿泊客の増加に向けた意見交換などで、協力的な制や合意形成を図っていきたいと考えております。

輸送経費支援

の諸課題

質問

奥尻町農水産品輸送経費支援事業の新たな動きの中で、発生する課題の整理と奥尻町の今後の具体策を求めるものです。

今後の課題となる函館から奥尻島内への一般貨物の搬送に対する、奥尻町として対応の見解を求めます。

不便のないよう

業者と協議

町長答弁

函館からの一般貨物の量は町としては把握しておりませんが、多くの方が奥尻海陸輸送を利用していただくと推測されます。

佐川急便江差営業所に島外から奥尻町への大型荷物の輸送について対応できるか問い合わせしたところ、事業者が個別に相談していただければ順次対応したい。金額についても安価で対応できる場合もあるとのこと。



町民の方々が不便をきたさないよう、佐川急便を含め、関連輸送業者と協議を進めて参りたいと思います。

地域脱炭素計画の進捗状況

質問

地域脱炭素移行业業計画は新規地熱発電の750kW事業、奥尻・青苗地区の陸上風力発電、500kWに縮小した太陽光パネルと、関心を持つ事業の進捗実態についての説明を求めます。

1、750kWの新規地熱発電事業に対する一部設備投資はどこまで進められていますか。
2、同事業へ奥尻町が参入の意向を示していますが、変更はないのですか。変更がないとすれば、参入の意

事業の遅れや規模縮小あり

町長答弁

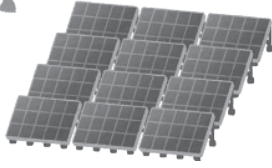
図を明確にされたい。
3、陸上風力発電の導入計画について、事業を予定する民間業者は、事業推進の意向をもっていますか。
4、奥尻町が事業の主体となる公共施設への太陽光パネルですが、設置は進める意向ですか。

地熱バイナリー発電個別計画では、令和6年度に基本設計を終了しております。

令和7年度は、実施設計及び設備の一部製作ですが、現在も環境省と協議中で交付決定がされていないことから着手されてはおりません。
なお、令和8年度では残りの設備の製作と建設にな

(7)

おくしり議会だより



っております。

地熱バイナリー発電所増設は、未利用井戸の噴気試験で予定通りの噴気を確認できず、脱炭素先行地域事業のスケジュールに間に合わないため、現在の発電に利用している井戸の余剰熱を使った発電に変更し、発電規模も280kWと大きく見直すこととしております。

規模縮小により利益も限定されることから、現在の状況では町の参入の意向は保留せざるを得ないものと認識しております。

陸上風力発電については、

北海道電力に検討いただきたいと考えております。最終的には事業採算に合うかにより事業実施の判断をされるものと思われまます。

太陽光パネルの設置については、設備導入調査を委託しており、詳細は調査結果を基に判断したいと考えております。

観光振興の

基本事項

質問

神威脇温泉は全国的にも有数な温泉として位置づけられるものです。この温泉への認識を問います。

また、島内における観光案内の看板不足も言われますが、腐食している看板は島内の自然にそぐわないことから撤去すべきです。

1、神威脇温泉保養所における観光振興における位置づけに対する認識をお聞かせください。

2、温泉の補修費として組まれた20万円について、屋根の補修とのことでしたが、補修は終わっていますか。

3、屋根の補修だけではなく、天井、ボイラーの老朽化も進んでいるようですが対応の意思をもっていますか。

4、補修の財源がないとするなら、指定管理者によるクラウドファンディングの許可をする意思の有無を再度聞きます。

5、鉄製の腐食した観光案内の看板が島内に4か所見受けられますが、撤去の意思はないのですか。

限りある予算で 計画的に対応

町長答弁

島唯一の源泉かけ流し秘境温泉で泉温は高めで全身が温まり、保温効果抜群の

湯となっております。島での観光資源は乏しい中で、大いに期待できる観光資源の一つであると認識しており



老朽化が進む神威脇温泉保養所

ます。

温泉のバルブポンプ故障の修繕を先に行ったため、屋根の簡易補修は終えていません。

しかし、屋根の補修は必要であり、簡易修繕では対応できない状況も確認しておりますので、修繕方法を検討している最中です。

限りある予算ですので、来年度以降で指定管理者と協議し、優先順位を決めて計画的に修繕をして参りたいと思います。

町の管理する施設であるため、クラウドファンディングの方法等事前に協議させていただきたいと思います。

現状を確認し、撤去を進めていきたいと思えます。また、看板が他の管理であれば撤去に向け要望をしてまいりたいと思えます。

ふもととしゃ 麓 敏也 議員



税収入の今後 の推移と対応

質問

役場新庁舎がスタートし起債償還など厳しい財政状況が予想される中、人口減に伴い、谷地地区、奥尻市街地の道路改良工事による商店、民宿、旅館などの比較的高い資産対象の多くの廃業が予測されています。また、来年10月1日には、5年に一度の国勢調査が行われ、人口減少も交付税などの対象となるので、今後の推移を見極め、歳入の安

定化に向けた対策等が重要になります。

国勢調査後の交付税額など5年前との比較増減の予測、道路改良工事終了後の固定資産税の減額の予測、歳入に対する具体的な対応策、ふるさと納税ポータルサイトのレベルアップに向けての考えを伺います。



事業の見直し による歳出減も

町長答弁

令和2年の2410人の人口と今年、11月末の人口2166人を基に普通交付税の算定では1億1500万円の減が見込まれます。道路改良工事後の固定資

産税の減額予測については、谷地地区の令和7年度以降の具体的な場所が奥尻町に示されていないため、奥尻市街地分の報告になります。今年度分の固定資産税で計算すると11件で約43万円の減になります。

歳入減に対する対応として未収金の回収や使用料、手数料などの見直し、企業版を含むふるさと納税の推進があります。

一方で、歳入に頼らず歳出面における事業の見直しを進め、起債の借入抑制を軸に財政の健全化を図りたいと思えます。

ふるさと納税では現在15のポータルサイトと契約しており、返礼品の写真の更新を行い、寄附者の目線でも考え掲載し、また、返礼品の販路拡大のため、事業者との打合せを重ね、新規返礼品の開発に努めています。

お 願 い

議長宛の文書や案内状などは、議長の公務日程上の調整をする必要がありますので、議長の私宅に送付しないで、直接、議会事務局に差出人等を明記のうえ、送付してください。

なお、期日、期限等があるものについては、早めにお願います。

◇送付先 奥尻町字奥尻428番地2 奥尻町議会議長 宛

議会は町政と皆さんの茶の間をつなぐパイプです。

議会を傍聴しませんか

☆次回定例会は3月上旬の予定です☆